

最高裁秘書第3733号

令和元年7月30日

林弘法律事務所

弁護士 山 中 理 司 様

最高裁判所事務総長 今 崎 幸 彦



司法行政文書開示通知書

6月20日付け（同月21日受付，第014055号）で申出のありました司法行政文書の開示について，下記のとおり開示することとしましたので通知します。

記

1 開示する司法行政文書の名称等

- (1) 令和元年6月20日付け司研企二第446号事務局長通知「集合修習の開始等について」（片面で4枚）
- (2) 令和元年6月20日付け司研企二第447号事務局長通知「集合修習の開始等について」（片面で4枚）

2 開示の実施方法

写しの送付

担当課 秘書課（文書室） 電話03（3264）5652（直通）

司研企二第446号

令和元年6月20日

平成30年度（第72期）

司法修習生各位

実務修習地 東京，立川，横浜，
さいたま，千葉，大阪，京都，神戸，
奈良，大津，和歌山

司法研修所事務局長 染谷 武宣

集合修習の開始等について（通知）

当研修所における集合修習が，下記1及び2のとおり実施されます。

なお，実務修習結果簿の提出及び即日起案時に使用する六法については，下記3及び4のとおりですので，注意してください。

記

1 集合修習日程

集合修習は，8月15日（木）から9月27日（金）までカリキュラムが行われる。カリキュラムの詳細については，別紙第1「A班 集合修習日程予定表」のとおりである。

なお，試験は，11月20日（水）から同月26日（火）まで実施される予定である。試験終了日の翌日から12月11日（水）の修習終了日までの期間は，自由研究日である。

2 集合修習開始日

8月15日（木）

集合修習開始日には，講義開始前にオリエンテーション（司法研修所長講話等）を行うので，西館1階ロビーで出席簿への押印を行った上で，各クラスの教室に入室し，午前8時50分までに着席する（時間厳守）。

なお、集合修習開始日 1 限目「民裁講義」の開始時刻は、16 日（金）以降と同様午前 9 時 50 分である。

おって、集合修習開始日に持参する教材等は、別紙第 2 のとおりである。

3 実務修習結果簿の提出について

実務修習結果簿は、選択型実務修習修習計画書の写しを最終ページに直接とじ込んだ上で（裏表紙の内側に糊付けしない。）、8 月 15 日（木）に各組のクラス連絡委員が回収（回収方法については、別途指示する。）し、企画第二課調査係に提出する。

なお、実務修習地の指導担当官検印欄に検印漏れがないように注意する。

4 即日起案時に使用する六法について

導入修習時の即日起案は、判例付き六法の使用を認めたが、集合修習時の即日起案は、特段の指示がない限り、判例付き六法の使用を禁じるので注意する。

(別紙第1)

平成30年度(第72期)司法修習生

A班 集合修習日程予定表

(注) 本表は予定であって、確定日程ではない。
確定日程は、毎週最終登庁日に配布する。

平成30年度(第72期)司法修習生

A班 集合修習日程予定表

(注) 本表は予定であって、確定日程ではない。
確定日程は、毎週最終登庁日に配布する。

月 日	曜	1限目 (9:50~11:40)	2限目 (12:40~14:30)	3限目 (14:45~16:35)
8 / 15	木	民裁講義	刑弁問題研究	
16	金	民弁問題研究1	民弁問題研究2	
19	月	民裁起案1(即日)		
20	火	刑弁起案1(即日)		
21	水	民共演習1準備	民弁問題研究3	
22	木	検察起案1(即日)		
23	金	刑裁起案1(即日)		

月 日	曜	1限目 (9:50~11:40)	2限目 (12:40~14:30)	3限目 (14:45~16:35)
26	月	民弁起案1(即日)		
27	火	民共演習1(口頭弁論期日)	刑共演習(証拠開示等)	
28	水	刑共演習(争点整理等)		
29	木	刑共演習(尋問)		
30	金	民裁起案1講評		
9 / 2	月	弁共演習(弁護士倫理)	刑弁起案1講評	
3	火	民裁起案2(即日)		
4	水	民弁講義(契約)	民弁演習(法律相談)	
5	木	検察起案1講評	刑裁起案1講評	
6	金	刑裁起案1講評	民共演習2(弁論準備手続期日)	
9	月	刑裁問題研究	民弁起案1講評	
10	火	検察起案2(即日)		
11	水	刑弁起案2(即日)		
12	木	刑裁起案2(即日)		
13	金	民弁起案2(即日)		
16	月	敬老の日		
17	火	民共演習3準備	民裁演習(争点整理)	
18	水	民裁演習(争点整理)	民共問題研究(和解)	
19	木	民裁起案2講評		
20	金	民共演習3(交互尋問)		

月 日	曜	1限目 (9:50~11:40)	2限目 (12:40~14:30)	3限目 (14:45~16:35)
23	月	秋分の日		
24	火	全共特別講義	検察起案2講評	
25	水	検察問題研究 (被害者保護)	刑弁起案2講評	
26	木	刑共問題研究 (情状・量刑)	刑裁起案2講評	
27	金	民共演習4 (判決・講評)	民弁起案2講評	
11 / 20	水	考試		
21	木	考試		
22	金	考試		
25	月	考試		
26	火	考試		
凡例				
民裁・・・民事裁判		刑裁・・・刑事裁判	民弁・・・民事弁護	
刑弁・・・刑事弁護		民共・・・民事共通	刑共・・・刑事共通	
全共・・・全科共通		弁共・・・弁護共通	(即日)・・・即日起家	

選択型実務修習

(別紙第2)

持参教材等

1 民裁講義

- (1) 新問題研究要件事実
- (2) 事実摘示記載例集（「10訂民事判決起案の手引」別冊）
- (3) 事例で考える民事事実認定
- (4) 民事裁判起案の留意点（平成30年12月版）（導入修習で配布したものの。）
- (5) 六法全書（判例注釈付きを除く。）

2 刑弁問題研究

- (1) 刑事弁護の手引き
- (2) 刑事弁護講義ノート（平成29年版）
- (3) 刑事事実認定ガイド

司研企二第447号

令和元年6月20日

平成30年度（第72期）

司法修習生各位

実務修習地 東京、立川、横浜、
さいたま、千葉、大阪、京都、
神戸、奈良、大津及び和歌山を除く。

司法研修所事務局長 染谷 武 宣

集合修習の開始等について（通知）

当研修所における集合修習が、下記1及び2のとおり実施されます。

なお、実務修習結果簿の提出及び即日起案時に使用する六法については、下記3及び4のとおりですので、注意してください。

おって、「入寮申込みについて（お知らせ）」を添付しますので、手続が必要な者は、手続に遺漏のないようにしてください。

記

1 集合修習日程

集合修習は、10月3日（木）から11月18日（月）までカリキュラムが行われる。カリキュラムの詳細については、別紙第1「B班 集合修習日程予定表」のとおりである。

なお、試験は、11月20日（水）から同月26日（火）まで実施される予定である。試験終了日の翌日から12月11日（水）の修習終了日までの期間は、自由研究日である。

2 集合修習開始日

10月3日（木）

集合修習開始日には、講義開始前にオリエンテーション（司法研修所長講話

等)を行うので、西館1階ロビーで出席簿への押印を行った上で、各クラスの教室に入室し、午前8時50分までに着席する(時間厳守)。

なお、集合修習開始日1限目「民裁講義」の開始時刻は、4日(金)以降と同様午前9時50分である。

おって、集合修習開始日に持参する教材等は、別紙第2のとおりである。

3 実務修習結果簿の提出について

実務修習結果簿は、選択型実務修習修習計画書の写しを最終ページに直接とじ込んだ上で(裏表紙の内側に糊付けしない。)、10月3日(木)に各組のクラス連絡委員が回収(回収方法については、別途指示する。)し、企画第二課調査係に提出する。

なお、実務修習地の指導担当官検印欄に検印漏れがないように注意する。

4 即日起案時に使用する六法について

導入修習時の即日起案は、判例付き六法の使用を認めたが、集合修習時の即日起案は、特段の指示がない限り、判例付き六法の使用を禁じるので注意する。

添付書類

入寮申込みについて(お知らせ)

(別紙第1)

平成30年度(第72期)司法修習生

B班 集合修習日程予定表

(注) 本表は予定であって、確定日程ではない。
確定日程は、毎週最終登庁日に配布する。

月／日	曜	1限目 (9:50～11:40)	2限目 (12:40～14:30)	3限目 (14:45～16:35)	月／日	曜	1限目 (9:50～11:40)	2限目 (12:40～14:30)	3限目 (14:45～16:35)
14	月	体育の日			11	月	民裁起案2講評		
15	火	民弁起案1(即日)			12	火	民共演習3(交互尋問)		
16	水	民共演習1(口頭弁論期日)	刑共演習(証拠開示等)		13	水	全共特別講義	検察起案2講評	
17	木	刑共演習(争点整理等)			14	木	検察問題研究 (被害者保護)	刑弁起案2講評	
18	金	刑共演習(尋問)			15	金	刑共問題研究 (情状・量刑)	刑裁起案2講評	
21	月	民裁起案1講評			18	月	民共演習4 (判決・講評)	民弁起案2講評	
22	火	祝日			19	火	自由研究日		
23	水	刑裁問題研究	検察起案1講評		20	水	考試		
24	木	民裁起案2(即日)			21	木	考試		
25	金	弁共演習(弁護士倫理)	民共演習2(弁論準備手続期日)		22	金	考試		
28	月	刑弁起案1講評		刑裁起案1講評	25	月	考試		
29	火	刑裁起案1講評	民弁起案1講評		26	火	考試		
30	水	検察起案2(即日)			<div>凡例</div> <div>民裁・・・民事裁判 刑裁・・・刑事裁判 民弁・・・民事弁護 刑弁・・・刑事弁護</div> <div>民共・・・民事共通 刑共・・・刑事共通 全共・・・全科共通 弁共・・・弁護共通</div> <div>(即日)・・・即日起案</div>				
31	木	刑弁起案2(即日)							
11 / 1	金	刑裁起案2(即日)							
4	月	文化の日							
5	火	民弁起案2(即日)							
6	水	民共演習3準備	民裁演習(争点整理)						
7	木	民裁演習(争点整理)		民弁講義(契約)					
8	金	民共問題研究(和解)	民弁演習(法律相談)						

(別紙第2)

持参教材等

1 民裁講義

- (1) 新問題研究要件事実
- (2) 事実摘示記載例集(「10訂民事判決起案の手引」別冊)
- (3) 事例で考える民事事実認定
- (4) 民事裁判起案の留意点(平成30年12月版)(導入修習で配布したものの。)
- (5) 六法全書(判例注釈付きを除く。)

2 刑弁問題研究

- (1) 刑事弁護の手引き
- (2) 刑事弁護講義ノート(平成29年版)
- (3) 刑事事実認定ガイド